１２月２３日　　４期まとめの生徒集会

「向上と発信」の4期は12月26日をもって終了します。後期がスタートと同時に始まった第4期の約二カ月間をまとめる生徒集会がこの日行われました。

4期の活動とその成果について、各委員長が全校生徒の前で語りました。

合唱委員会からは、どの学級も団結して素晴らしい合唱を創り上げ、第1回の合唱発表会が成功に終わったことを讃えるとともに、これからの合唱活動も勢いを落とすことなく継続していこうと確認しました。

学習委員からは、「質問タイム」を利用して積極的に質問する生徒が増えたことは、個々の学習が充実したためだと価値付けるとともに、中でも7割の生徒が質問した1年Ｂ組の頑張りを讃えました。

生活委員会からは、「蛮カラ言葉」が確実に減少したこと、学級に温かな言葉が増えたことを喜ぶ報告がありました。

他の委員会からも、4期の取り組みのそれぞれの成果が具体的に語られ、瑞浪北中学校が確実に成長していることがよくわかりました。

そのあと、全校生徒による意見交流が行われました。多くの生徒が報告を聞いて、「これからも続けていきたい」という前向きな意見や、「自分も頑張りたい」という意欲的意見を出しあいました。

その中でも、1年生のＮ・Ｍさんが語った「今はオール５Ａがとりたいから頑張っているけど、がんばった結果がオール５Ａになるようにしたい」という意見が印象的でした。目標はオール５Ａですが、目的はオール５Ａではありません。Ｎ・Ｍさんの意見は、これからの瑞浪北中に大切なことを教えてくれました。それが誰の心にも意識されるようになれば、北中はますます素敵な学校になっていくことでしょう。